

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等			
Ⅰ 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 各学校行事(榛名登山・体育大会など)に満足している生徒が80%以上である。	・榛名登山、体育大会等の伝統行事への取り組みをとおして人間的成長を図る。 ・生徒のニーズや実態を把握し、それに応じた補習を実施する。 ・生徒たちがエージェンシーを育めるよう諸活動の内容や運営方法を生徒と共に検討し、改善する。 ・日頃からの生徒たちへの声かけ等を通して、自己肯定感や自己有用感の向上を図る。 ・身の回りの整理整頓を心がけさせることで環境美化の意識を育て、全員清掃を徹底する。	A	A	A	本年度は榛名登山に加えて文化祭開催年であった。また、昨年度より変更した体育大会2日間実施等、学校行事をとおして生徒の主体性を育むことができた。アンケート結果でも、生徒、保護者、職員共に高い評価を付けている。 早朝補習、土曜補習、長期休業中補習などを計画的に実施できた。生徒の91%、保護者の87%が満足している。今年度から2学年の土曜補習を希望制にしたが、昨年度に比べて生徒、保護者それぞれ満足という回答に2%の上昇があった。 学校を自分達で変えていくという思いから、自ら考え、判断し、行動できる生徒が増えてきた。安心して安全に学校生活を送れる環境作りは、継続して行っていき、結果として居場所づくりに繋がるような工夫をしていきたい。 95%の生徒が清掃を積極的にやっているという回答した。今後も美化活動について指導を継続し、学習環境を整えていきたい。	伝統を継承しつつ、社会の変化や時代のニーズに合わせて更新する取組が素晴らしい。 エージェンシーを発揮している姿や「安心して安全に学校生活を送れる環境作り」についてより詳しい状況を報告して欲しい。 AIで情報収集を容易にできる時代である現代では、探究的な学習がより重要である。本校でも探究学習に力を注いで欲しい。
		② 各種補習や延長学習等に満足している生徒が80%以上である。						
		③ 自分の学校が楽しいと感じている生徒が、80%以上である。						
	2 環境美化に心がけ、清掃活動を積極的にを行っていますか。	④ 清掃活動と環境美化に積極的に取り組んでいる生徒が90%以上である。						
Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	⑤ 生徒の実態を踏まえ、到達度に応じた学習指導を実施し、学習に対する達成感・満足感をもっている生徒が80%以上である。	・生徒がエージェンシーを発揮する授業を実施し、個別最適な学びと協働的な学びの一体化の充実を目指す。 ・授業公開週間を設け、授業参観をとおして、学校全体の授業改善が活性化されるようにする。	A	A	A	道徳教育推進校からSHA指定校に移行した中で、授業改善を今年度の目標とした。教科ごとの違いを踏まえながらも全職員へ生徒の主体性を育む授業実践を促した。授業アンケートの結果を見ると及第点は与えられると考える。また、学教評価アンケート結果でも保護者及び生徒から共に80%以上の満足度を得られている。課題としては、教科毎に実践のばらつきが見られるので、来年度も同じ目標を継続していきたい。 各学期始めに学習時間調査を実施し、その結果を各学年で活用できた。学年の数+1時間を達成できた生徒は全体の49%であり、昨年度より8%上昇した。しかし、約半数の生徒が未達成であるため、改善できるよう引き続き指導していきたい。	主体的を育む授業改善の具体的な成果を報告して欲しい。 アントレプレナーシップのモデル校になることを薦めたい。 学力が追いつかない生徒への指導として、学習指導そのもの以上にやる気を起こさせる指導が大切であると思う。 目標の学習時間に達している生徒は確かな学力はついているか。
		4 生徒は確かな学力を身に付けていますか。		⑥ 1日当たりの平均学習時間が学年の数+1時間(全学年の平均として3時間)以上である。				
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	5 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑦ 生徒の問題行動及び不登校に対して生徒指導部と学年で連携を図り、迅速な対応をする。	・組織的な対応の徹底に向けた風通しのよい職場づくりと生徒の変化を見逃さず、丁寧かつスピード感を持って対応する。また、必要に応じて関係機関とも緊密な連携を図り、転退学者の減少を図る。 ・いじめの定義を理解し、生徒・教職員一人ひとりがいじめに対するアンテナを高くする。気軽に相談しやすい雰囲気づくりやいじめ防止活動に力を入れ、未然防止及び早期発見に努める。 ・基本的な生活習慣の確立を図るために家庭との連携を密にして協力を仰ぎ、情報共有の徹底を図る。また、学期ごとに数値を算出し、共有する。 ・年間のあいさつ運動を通して、あいさつへの意識を学校全体として高める。校内・校外において渋女生としての自覚と規範意識を持って行動できる生徒の育成を図る。 ・生徒会活動や部活動で生徒に委ねる場面を増やすと共に、主体的に取り組める生徒を育てる。 ・生徒の安全を確保し、安心して活動できる環境を整え、人間形成に繋げる。	A	A	A	生徒の問題行動及び不登校の予防として、日々の生活指導を継続的に行った。今後も、そのような指導を継続しつつ、生徒・保護者の対応が必要な際には、校内での連携をしっかりと図っていききたい。 いじめはどこにあってもしけないという認識のもと、いじめに対する教職員での共通認識を徹底し、情報共有を密に迅速かつ丁寧に組織的な対応ができていく。SOSの出し方や周りにも目を向けられよう継続して未然防止に努めていく。 欠席・遅刻が重なってしまう生徒に対しては家庭との連絡を密に情報共有が図れた。2学期終了時では0.6%であるため、目標値に近づける。また、欠席率もよい状況であるため欠席・遅刻ともに引き続き指導していく。 まだまだ生徒・保護者と教職員での認識や意識の差がある。継続して挨拶の大切さを日々の諸活動で伝えていく必要があると強く感じる。外部での行動については、苦情の少なさから渋女生としての自覚と誇りを持って行動できている。 生徒・保護者ともに90%以上が満足感・充実感を感じていると回答している。ただ、集団での活動であるため、集団の雰囲気や個としても合う合わないが生じてきてしまうが、その中で学ぶことのできる人間関係づくりに目を向けさせていきたい。	下級生が上級生の姿を見て、「自分もあんな先輩になりたい」と思えるような学校であることが理想である。教師の努力している姿にも感服している。 不登校やいじめはデリケートな問題であるので、早めの対応で状況が改善されるように指導を徹底して欲しい。 保健室利用者や欠席者の中で心の問題が多いと思うが具体的などのようなものであるかをできる範囲で説明して欲しい。自分ができる援助をしていこうと思っている。 挨拶は地域社会の中で最も大切なことであり、笑顔が加わるとより効果的であると思う。 協調性や主体性に関しては、渋女の生徒は素晴らしい感じている。
		6 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的にしていますか。		⑧ いじめを容認しない校風づくりと、いじめの未然防止・早期発見に取り組んでいる生徒が80%以上である。				
	7 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑨ 家庭と連携をとりながら遅刻を減らし、1日の平均遅刻者は全校生徒の0.5%以下である。						
		⑩ 服装やマナーに気をつけ、挨拶を積極的にしている生徒が90%以上である。						
		⑪ 生徒会活動や部活動に参加している生徒の満足感・充実感が80%以上である。						
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	8 計画的な指導を行っていますか。	⑫ 大学説明会や進路講演会などの進路行事に満足している生徒が80%以上である。	・最新の大学入試情報を提供できるよう、大学説明会やPTA学年部会での進路講演会などを計画的に実施する。 ・「LHR」や「総合的な探究の時間」などで進路学習を計画的に取り入れ、積極的に取り組ませる。	A	A	A	計画していた進路講演会等はすべて実施することができた。生徒の95%、保護者の91%が進路行事に満足していると答えていると答えた。次年度も生徒の進路意識を高められるような講演会を計画したい。 進路情報誌の配付や進路講演会の実施を適切な時期に実施することができた。生徒の88%、保護者の83%が進路実現に向け取り組んでいると答えた。次年度も進路学習を計画的に実施し、生徒が進路実現に主体的に取り組む場面を多く設定したい。	
		9 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。		⑬ 進路実現に向けて積極的に取り組む生徒が80%以上である。				
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めていますか。	10 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑭ PTA総会・公開授業・学年部会へ積極的に参加しようとしている保護者が80%以上である。	・各行事に関する案内文書や資料を【スマート連絡帳】を活用しながら保護者へ情報が確実に伝わるようにするとともに、各行事への参加についても生徒を通じて積極的な参加を呼びかける。 ・進路指導、学習に関する事柄を中心に、生徒、保護者にとって有益な情報、また、生徒、保護者の関心が高いと考えられる学校生活の様子などを、速報性と正確さに配慮しながら提供する。	A	A	A	【スマート連絡帳】を活用、確実に保護者へ案内・通知・資料が届き、さらに回答を要するものも短期間で集約できるようになった。生徒へは【Googleclassroom】を活用して校外のイベント案内をしている。バーバレス化も進めることができた。今後も活用の範囲を広げていきたい。 学校行事や部活動の報告は、原則イベント後3日以内でのHP更新を実施することができた。アンケート結果においても生徒、保護者、職員から高い評価を得ている。来年度は、進路行事についての報告を充実させていきたい。	PTA総会や公開授業など、参加者が今後も増加するように協力していきたいと考えている。 校内の生徒の様子やインスタグラム等で情報発信されており楽しいと感じている。 渋女生が渋川市を盛り上げている活動をしているのが頼もしい。
		⑮ 本校ホームページの掲載内容や更新頻度に関して、生徒及び保護者の80%以上が満足している。						
Ⅵ 教育デジタル化に努めていますか。	11 ICTを活用した指導を行っていますか。	⑯ 生徒の理解を深め、授業の効率化を促進するために、全職員がICT機器を活用した授業が実践している。	・ICTを効果的に活用する授業実践のため、職員間の情報交換を積極的に行う機会を作る。 ・授業アンケートを踏まえた授業の振り返りを実施する。 ・スマート連絡帳、グーグルワークスペースを活用した週番連絡や欠席連絡等を用いて、効率的で正確な情報伝達を行う。 ・グーグル・フォームを用いた業務の効率化を図る。	A	A	A	生徒の95%、保護者の94%、職員の89%から実践できているとの回答が得られた。特に第1回のアンケートと比較して職員の数値が上がったことから、授業実践での活用度合いが上がったと考えられる。ICT技術は日々の進歩が早く、生成AIの活用も益々、来年度も職員同士でスキルを共有できるような環境作りをしたいと考えている。 連絡等は、スマート連絡帳を主に活用することで、効率的で正確な情報伝達が行えた。行事等への出欠連絡もグーグル・フォームを用いて効率的に集約することができた。HPでの生徒の活躍の記事、学年通信などの発信についても興味深く見てもらうことができた。	自分の職場でもバーバレス化が進んでおり、会議ではタブレットやノートパソコンでの情報共有が当たり前になって来ている。学校でもこの流れに乗り遅れないように頑張りたい。
		12 ICTを活用した業務改善を行っていますか。		⑰ ICTを活用した通知やアンケートの実施に、生徒及び保護者の80%以上が満足している。				
Ⅶ 学校施設・設備の安全管理に努めていますか。	13 生徒の安全確保の観点から施設・設備を管理していますか。	⑱ 日常並びに定期的な安全点検・環境衛生点検を徹底し、不注意による事故は0件である。	・全職員による点検結果を集約し、不適切箇所の速やかな改善を行う。 ・職員が適切な初動態勢をとることで、生徒の安全や速やかな避難を確保する。	A	A	A	月毎の清掃監督による点検の他、係による点検を実施した。改善箇所については速やかに修繕することができた。次年度も適切に対応したい。 96%の生徒が日頃から危機管理意識をもって生活していると回答している。今年度は、講演およびワークショップも行い、学校全体で危機管理意識を高めることができた。次年度も危機管理について学校全体で共有し、安全対策に努めたい。	これからも学校の施設・整備の安全管理を徹底し、生徒にとって素晴らしい環境での学びの場を目指して欲しい。 校内への不法侵入者対策もお願いしたい。
		⑲ 避難訓練の実施により、日頃から危機管理意識を持って学校生活を送っている生徒が80%以上いる。						

記述回答では貴重なご意見をいただきありがとうございました。

①補習に関して

補習は出席日数には入っていません。

②荒天時の登校に関して

荒天時の登校に関しては、本校ホームページで示しています。小中学校と違い様々な地区から通学してくる生徒がいるため、登校可能かどうかが各自の判断となる点が多いためご了解ください。

③その他

その他にも多くのご意見やご指摘をいただきました。改善できるものは随時改善していきたいと考えていますが、施設・設備面のご要望は本校が県立学校である点をご理解ください。